



(甲南中学校 陸上部)
倉崎 愛那さん(3年)
丸谷 有衣さん(2年)

沿道の声援受け 都大路を駆け抜ける

1月15日、皇后杯第30回全国女子駅伝が京都市で開催されました。この大会に県代表として、甲南中学校から倉崎さん、丸谷さんの2名が出場、粘りの走りを見せ、県勢歴代2位の好記録達成に大きく貢献しました。大会を終えたばかりのお二人にお話を伺いました。

一全国女子駅伝に出場された感想は

倉崎 初出場だったので緊張しました。上り坂が多い区間を任せられましたが、思ったよりも苦しくなく走りきることができました。タイムも目標をクリアでき満足しています。中団グループでの襷リレーでしたが上手く渡せました。

丸谷 私も初出場でとても緊張しましたが、走っていると沿道の声援がよく聞こえ、励みになりました。目標タイムを上回ったので普段以上の走りができました。憧れの竹中さんに襷が渡せて嬉しかったです。

一陸上を始めたきっかけは

倉崎 昨年度の県駅伝大会に出場したのがきっかけで、中2の冬に陸上部に転部しました。思い切って陸上部にきて良かったと思っています。

丸谷 私は中学校に入ってからです。兄が陸上をやっていたので、私も迷わず入部しました。

一今後の目標は

倉崎 私は、高校受験が控えていますので、しばらくは勉強に集中します。進学後も陸上は続けていくつもりです。来年も全国女子駅伝に出場できるようがんばりたいです。

丸谷 今年は中学最後の年になるので、昨年のように、部として全国大会に出場、個人として、来年も全国女子駅伝出場を目標にしたいです。



力走する丸谷さん(右)、倉崎さん



書き初め大会

かふか生涯学習館新春書き初め大会が1月7日、同館で行われ市内の小学生16名が参加しました。参加者は講師の先生から指導を受けながら、思い思いの字を何度も練習した後、書初めを行いました。家で考えてきた文字や、お手本を見ながら「辰」「友だち」「絆」など、半紙いっぱい筆を走らせていました。参加した河合珠希さんは、「上手に書けました。友だちと一緒に参加して楽しかった。」と誇らしげに作品を眺めていました。



▲元気よく筆を走らせる子ども

元気よく筆を走らせて・・・

かふか生涯学習館新春書き初め大会が1月7日、同館で行われ市内の小学生16名が参加しました。

園児が茶道を体験

岩上保育園お茶会

岩上保育園新春恒例のお茶会が1月11日、同園で開催され、5歳児と4歳児36名が、茶道を体験しました。

園児らは、お茶の先生から指導を受けた作法に従い、和菓子をいただいた後、顔が隠れるほどの茶碗に口をつけました。普段は元気いっぱい園内を駆け回る園児たちですが、この日は、お行儀よく「侘び寂びの世界」に触れていました。



▲お茶の味わかるかな



元気なまちかど

石ころがみた野洲川



- 期間 3月11日(日)までの9時～16時(月曜休館)
- 入館料 大人200円 小中学生100円

「みなくちこども森」の森で、冬の特別展「石ころがみた野洲川」を開催しています。市内を流れる野洲川には、様々な種類の石や岩が転がっており、そこに住む生き物たちの住みかとなり、豊かな自然を育んでいます。このような特徴のある野洲川を「石ころ」の目線で、源流から河口までの間を、花崗岩や市天然記念物の葦青石(きんせいせき)などの展示や、生き物たちの写真パネルなどを用いながら、クイズ形式で紹介しています。クイズに答えると特別展限定カードのプレゼント(子どものみ)の特典もあり、子どもから大人まで楽しく学べる催しとなっています。ぜひご来場下さい。

野洲川の自然を再発見 みなくちこども森特別展

2012年新春初打ち グラウンドゴルフ大会

「2012年新春初打ちグラウンドゴルフ大会」が1月14日、水口スポーツの森多目的グラウンドで開催され、市内の愛好家253名が集まり、日頃磨いた技を競い合いました。スポーツを通じて自らの健康と体力の保持増進に努め、参加者相互の連携を図ることを目的に市グラウンドゴルフ協会が毎開催しているもので、今年で7回目になります。競技は1回8ホールを3回行い、打数の少なさで順位を争いますが、参加者は、十数メートル先のホールポストを狙い、一打に集中していました。大会では、一打でホールポスト内に入る「ホールインワン」や、ポストそばにピタリと寄せる好プレーが続出するなど、熱戦が繰り広げられていました。



▲熱戦が繰り広げられた大会

寒風の中熱戦繰り広げる

日本の伝統の遊びに 触れてみよう

甲南第三小学校 百人一首大会



▲百人一首を体験する児童

甲南第三小学校「五色百人一首大会」が1月11日、同校体育館で行われ、全校児童47名が日本の伝統遊びを体験しました。

全校児童を4つのグループに分け、チーム対抗戦で行い、「五色百人一首」と呼ばれる子どもが親しみやすいように札を赤や黄色など五色二〇枚ずつに分けられた札が使用されました。

児童たちは先生が上の句を読み上げただけで、素早く札を取り合い、この日のために冬休みの間、家で練習を重ねてきた成果を発揮し、白熱した戦いを見せました。